


在中物なし

172


 在東京中區河原町二丁目
 川島友三郎

昭和拾四年四月廿八日
 敬請防衛教育訓練要望ノ件通牒
 東部防衛參謀長 西村琢磨
 内務省警保局長 安藤狂四郎 殿
 首題ノ件ニ関シ 東部管内地方長官宛別
 冊ノ通リ要望セルニ付及通牒候也
 追テ計畫局長ニハ通牒消ニ付申添候

陸軍

東防參第一五四號

敬請防衛教育訓練要望ノ件通牒

昭和拾四年四月廿八日

東部防衛參謀長 西村琢磨

内務省警保局長 安藤狂四郎 殿

首題ノ件ニ関シ 東部管内地方長官宛別

冊ノ通リ要望セルニ付及通牒候也

追テ計畫局長ニハ通牒消ニ付申添候

警保局	
14. 5.	1-月
警	12号

東京 防川總



訓ニ準テ書寫シテ取ルニ通弊進ニ志申テ於
其ノ通ニ誤ルヲナシテ以テ通弊ヲ除ク
其ノ通ニ誤ルヲ除クニ東洋通弊ヲ除ク如ク
其ノ通ニ誤ルヲ除クニ東洋通弊ヲ除ク如ク

昭和四年四月廿八日

東洋通弊ヲ除クニ東洋通弊ヲ除ク如ク

東洋通弊ヲ除クニ東洋通弊ヲ除ク如ク

東洋通弊 第一五四號

總務部

昭和一年四月十一

警防團教育ノ要望

東部防衛司令部

目次

- 一 警防團教育綱領
- 二 警防團永年教育順次表
- 三 昭和十四年度警防團教育順次表
 参考表（昭和十四年度警防團教育課目及程度表例）
 同屬表（警防團年度教育計畫表樣式例）
- 四 昭和十五年度警防團教育順次表概要
- 五 幹部教育ニ就テ

警防團教育綱領

第一 警防團教育ノ目的ハ團ノ幹部及團員竝ニ團ヲ訓練シテ防空、水火
消防其ノ他ノ警防ノ任ニ當ラシムルニ在リ而シテ警防活動ノ爲緊要條
クベカラザル要素ハ堅確ナル警防精神竝ニ嚴肅ナル警防規律タリ故ニ
警防團教育ハ此ノ要素ヲ涵養スルヲ以テ主眼トス

第二 警防精神ハ忠君愛國義勇奉公ノ至誠ニ發スル警防上ニ於ケル國民
精神ノ精華ニシテ警防團使命達成ノ最大要素ナリ
謹デ按ズルニ「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶
翼スヘシ」トノ勅語ハ實ニ我等臣子終局ノ本分ニシテ我が國民最高
ノ道德タリ、生ヲ棄テ義ヲ取リ恥ヲ知り名ヲ惜ミ責任ヲ重ンジ艱苦ニ
堪ヘ奮ツテ難局ニ赴キ悦ンデ任務ニ盡ル、ハ我が國民ノ古來繼承尊重

セル大和魂ニシテ特ニ警防團員ニ必須ノ資性ナリ
 サレバ警防團ハ須ク萬邦無比ノ我方國體ノ精華ヲ益々發揚シ盡忠報國
 皇謨ヲ翼贊シ奉リテ國家ノ興隆ニ貢獻スルヲ念トシ常ニ品性ノ陶冶ニ
 努メ質實剛健ノ氣風ヲ養ヒ率先範ヲ鄉閭ニ示シ一朝有事ニ際シテハ身
 ヲ挺シテ雖ニ赴キ難レテ後已ムノ覺悟ヲ以テ國土ノ防衛ト災厄ノ防遏
 ニ努メ以テ上 宸襟ヲ安ンジ奉リ下國民ヲ安堵セシムルコトヲ期セザ
 ルベカラズ

敍上ノ如キ精神素地ハ國民トシテ既ニ之ヲ具有ス故ニ警防團教育ニ於
 テハ益々之ヲ砥礪擴充シ以テ事實上ニ其ノ成果ヲ舉グルヲ要ス

第三 警防規律ハ警防團ノ命脈ナリ故ニ警防團ハ常ニ警防規律ヲ振作ス
 ルヲ要ス

災害地到ル所伏況ヲ異ニシ然モ皆重ノ任務ヲ負ハスルニ警防團員ノシ

上團長ヨリ下一班員ニ至ル迄脈絡一貫克ク一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致
 ノ行動ニ就カシメ得ルモノ即チ警防規律ニシテ時ト所トヲ論ゼズ上下
 齊シク法規ヲ恪守シ熱誠以テ警防ノ業務ニ努力シ命令必ズ行ハル是ヲ
 警防規律振作ノ實證トス

而シテ警防規律ノ要素ハ服從ニアリ服從ノ元素ハ禮徳ニ在リ故ニ全警
 防團員ヲシテ上中互ニ敬慕シ至誠上長ニ服從シ其ノ命令ヲ遵守スルヲ
 以テ第二ノ天性ト成サシムルヲ要ス

第四 團員ノ志氣ハ旺盛ナラザルベカラズ

凡ソ志氣旺盛ナレバ進ンデ難局ニ當リ喜ンデ其ノ責ニ任ズルニ至ルベ
 ク警防規律之ニ由リテ自ラ振奮シ服務之ニ由リテ自ラ活氣ヲ呈シ訓練
 之ニ依リテ精ヲ致シ警防業務之ニ依リテ光ヲ放ツ幹部ハ常ニ團員ノ志
 氣ヲ振興シ勇往邁進ヲ進メテ後已ムノ氣概ヲ充溢セシメザルベカラズ

第五 事ノ輕重本末ト緊急要度ヲ考察シテ訓練ノ重點ヲ把握シ時ト所ヲ論セズ諄々薰化シテ内、心ヲ盛へ外、周到適切ニ訓練ヲ企畫シ盛正嚴格ニ之ヲ實施スルハ實ニ警防精神ヲ振作シ警防規律ヲ緊張スルノ要道ナリ

此ノ如クシテ彼此相應ジ表裏兼該シ始メテ能ク警防精神並ニ警防規律ノ涵養ヲ期シ得ベシ

第六 部下團員ヲシテ一令ノ下欣然トシテ難局ニ就カシムルモノハ即チ訓練ノ精華ナリ

凡ソ警防團ノ教育ニ方リテハ幹部ハ團員ヲシテ的確ニ各自ノ責務ヲ自覺シ忠君愛國ノ大義ニ基キ熱誠以テ專ニ從ハシムル如ク指導セザルベカラズ之ガ爲幹部ハ常ニ躬ヲ正道ヲ踐ミ團員ハ衷心服從ノ本義ヲ守リ上下一致肝膽相照ラシ以テ警防業務ノ鍊磨ニ勉ムルヲ要ス苟モ警防團

ノ訓練ニ方リ上下思慮ノ穩健ヲ缺キ思想ノ正順ヲ失フガ如キコトアラシカ警防團ノ團結爲ニ弛解ヲ來スニ至ルベシ嚴ニ戒慎セザルベカラズ

第七 幹部ハ警防團ノ**精幹**、警防精神及警防規律ノ本源ニシテ又警防團教育及指揮ノ中樞且團結ノ核心ナリ

是ヲ以テ幹部ハ常ニ該博ナル識量ヲ養ヒ卓拔ナル技能ヲ練リ教導肯綮ニ中リ熾烈ナル責任觀念及完全ナル職責遂行ノ範ヲ垂レ克ク部下ヲ掌握シ以テ教育及指揮上最善ノ效果ヲ收メザルベカラズ

此ノ如クシテ始メテ能ク部下團員ノ渴仰ト信頼トヲ獲ベク以テ眞ノ服從ヲ誘起シ警防規律ヲ振興シ教育ノ成果ヲ舉グルコトヲ得ルモノトス

第八 一般團員ハ一意專心上長ノ教導ニ違ヒ思想正順ニシテ克ク其ノ本分ヲ自覺シ命令規則ヲ嚴守シ演習勤務ニ勉勵シ進ンデ上長ノ掌握下ニ入り常ニ心身ヲ鍛鍊シ百折不撓其ノ本領ヲ完ウセザルベカラズ

第九 警防技能ノ習熟ハ能ク自信力ヲ増シ意志ヲ鞏固ニシ氣力ヲシテ自

ラ旺盛ナラシム

災害凄惨ヲ極ムル場合ト雖モ警防精神鞏固、警防規律嚴肅然モ警防技能ニ習熟センカ意中恃ム所アリ心手期セズシテ活動スルニ至リ能ク災害克服ノ功ヲ奏スベシ、各團員ハ此ノ心ヲ以テ警防技能ノ習熟ニ勉メザルベカラズ

第十 防空必勝ノ信念ハ主トシテ我が日本ノ光輝アル歴史ニ根源シ周到ナル訓練ヲ以テ之ヲ培養シ卓越ナル指揮運用ヲ以テ之ヲ充實ス

團員ハ赫々タル傳統ヲ有スル我が國民ノ儀容タリ彌々忠君愛國ノ精神ヲ砥礪シ益々訓練ノ精熟ヲ重ネ災害慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持セザルベカラズ

第十一 體力ノ強弱ハ志氣ノ振否ニ至大ノ關係ヲ有ス

凡ソ體力強健ナレバ志氣亦旺盛ト爲リ氣象ノ變易ニ克テ困苦缺乏ニ堪ヘ各種ノ任務ヲ完全ニ遂行スルヲ得ベシ故ニ團員ハ體軀ヲ鍛ヒ筋骨ヲ鍊リ持久力ヲ養ヒ以テ至難ナル任務ヲ盡スニ毫モ遺憾ナキノ資質ヲ具備セザルベカラズ

第十二 上下一體和衷協同ハ警防ノ目的ヲ達スル爲極メテ重要ナリ

是ヲ以テ警防團ハ其ノ各部各班ヲ論セズ上下ヲ問ハズ戮力協心一個ノ有機體的活動ノ實ヲ擧グルヲ要ス、私情私心ヲ去リテ善意他ニ接シ各々其ノ職責ヲ重ンジ共同ノ目的ニ向ツテ一意任務ノ遂行ニ努力スルハ自ラ協同一致ノ成果ヲ齎ラスモノトス

第十三 職務ノ存スル所責任自ラ之ニ伴フ各員宜シク其ノ職務ノ存スル所ニ盡ミ表裏ナク全力ヲ傾注シテ之ガ遂行ニ勉ムベシ

警防團員ノ活動ニ方リテハ關係諸員相互ノ連繫亦固ヨリ忽ニスベカラ

ズト雖モ他人ニ倚頼シ若クハ事毎ニ上級者ノ指示ヲ仰ギテ責任ヲ免ル
、ヲ許サズ又上級者ハ常ニ意ヲ部下團員ノ指導ニ致シ剴切ナル監督ヲ
行フト共ニ嚴ニ其ノ職責ヲ尊重シ其ノ手腕ヲ發揮セシムルヲ要ス

第十四 警防團ハ國民警防ノ核心トシテ國民ト一體トナリ警防活動ニ從
事セザルベカラズ又警防團員ハ國民ノ模範典型タルノ覺悟ナカルベカ
ラズ

抑トモ警防團員ハ市町村内ニ於ケル市町村民ノ重要部ヲ占ム從テ之ガ
善勳ノ善惡ハ直ニ郷黨閭里ノ風尚ヲ左右シ以テ國民ノ精神ニ至大ノ影
響ヲ及スモノナリ蓋シ警防團ニ於テ修得セル無形上ノ資質ハ以テ社會
ノ風潮ヲ向上スベク國民ノ儀表ト爲リ實質剛健ノ氣風ヲ馴致シテ國家
ノ隆興ヲ増進シ得ベケレバナリ是ヲ以テ團員ハ自ラ修養スベク警防團
教育ノ任ニ當ル者ハ併テ國民ノ模範典型ヲ陶冶スルノ概ナカルベカラ

ズ

警防活動ハ事公務ナリト雖モ國民ニ接スルニハ常ニ懇切丁寧溫和ヲ第
一トシ市民ノ愛敬ヲ得ルコトニ努ムベシ妄リニ警察機關ノ補助タル觀
念ヲ以テ暴威ヲ振フガ如キコトアルベカラズ

第十五 警防活動ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期
シ得ベシ

警防事項ハ複雑多岐ナリト雖モ重點ニ徹底シテ其ノ訓練ヲ精到ナラシ
メンカ自ラ寧ヲ簡單ニシ其ノ活動ヲ敏活ナラシメ成果ヲ擧グルコトヲ
得ベシ

警防ニ關スル諸法規ハ警防活動上遵守スベキ定則ナリ苟モ法規ニ乖ク
ベカラズト雖モ之ガ運用ノ餘地尙多シ宜シク研究ヲ精ミ創意ヲ重ネ以
テ活用ノ妙ヲ體得シ其ノ實效ヲ擧ゲザルベカラズ

(附屬表)

敬言防團年度教育計畫表樣式例

昭和十四、四、二一
東部防衛司令部

精神教育	區分	課目	前	四	課目	
			期	月	回数	
				時	間	
				五		
		中	課目	八	課目	
	期			月	回数	
				時	間	
				九		
		後	課目	十	課目	
	期			月	回数	
				時	間	
				計		
			計			
			計			

179-1

179

(附屬表)

警防團年度教育計畫表樣式例

昭和十四、四、二一
東部防衛司令部

備考	計	學科	業務訓練				一般訓練		精神教育	區分			
			消防		報警		團體	各個		課目	回数	時間	
			團體	各個	團體	各個	體	個					
									前	四	課目	回数	時間
									中	八	課目	回数	時間
									後	十	課目	回数	時間
									計		數回	間時	

本表、外月別(又ハ週別)及毎日(又ハ毎週)教育計畫表樣式ハ「青年學校教練教科書
(教師用)」ニ準ジ調製スルヲ可トス

裏面白紙

179-1

昭和十五年度警防團教育順次表概要

昭和十四四一
東部防衛司令部

備考	學科	業務訓練		一般訓練		精神教育	課目
		團體	各個	團體	各個		
<p>一、本年度ニ於テ訓練ヲ完成ス</p> <p>二、補充團員ニ對シテノ教育ニ意ヲ用フ</p>	<p>昭和十四年度ノモノニ準ズル外左ノ如シ</p> <p>確知課ノ徹底ニ努メ對市民活動ニ誤ナカラシム</p>	<p>前欄ノモノニ準ズル外左ノ如シ</p> <p>一、業務的業務ニ關シテハ團以下確實迅速ニ行動シ得ルト共ニ</p> <p>二、業務外ノ業務ニ關シテモ部以下ニ於テ確實ニ動作シ得ル如ク</p>	<p>一、基本的事項ノ習熟</p> <p>二、前年度不十分ナル事項ノ補備教育</p> <p>三、應用的動作ノ能力向上</p> <p>四、業務以外少クモ二業務ヲ行ヒ得ルニ至ラシム</p>	<p>昭和十四年度ノ課目進度ニ準ズル外左ノ如シ</p> <p>一、基本事項ノ習熟</p> <p>二、前年度不十分ナル事項ノ補備教育</p> <p>三、應用的動作ノ能力向上</p> <p>四、業務以外少クモ二業務ヲ行ヒ得ルニ至ラシム</p>	<p>昭和十四年度ノモノニ準ジ各期毎ニ補備教育、習熟ノ爲ノ</p> <p>練、前年度ノ結果ニ基キ必要ナル訓練ヲ行フ</p> <p>本年度ハ業務訓練ニ重點ヲ置クモ時々一般訓練ヲ行ヒ精神</p> <p>訓練及規律訓練ノ目的達成ニ資ス</p>	<p>昭和十四年度ノモノニ準ジ行フモ各種經驗、實例、戰史ヲ</p> <p>例證シ且前年度訓練ノ成果ニ鑑ミ必要ナル事項ヲ教育シ終</p> <p>始之ガ訓練ニ徹底ス</p>	<p>前期 (自七月) 中期 (自八月) 後期 (自十二月)</p>

昭和十六年度以降ノ教育ニ就テ

前年度教育及訓練ノ成果ニ鑑ミ不十分ナル點ノ教育ニ努ムルト共ニ補充團員ノ教育ヲ周到ニシ益々訓練ノ精到ヲ期シ實際的ニ活動シ得ルニ至ラシム

期別ノ課目進度ノ要領ニ關シテハ昭和十四年度ノモノニ準ズ

期 目	一級訓練		業務訓練	
	各 部	各 部	各 部	各 部
前 期 (自一月一日起至一月三十一日)	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る
中 期 (自二月一日起至二月三十一日)	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る
後 期 (自三月一日起至三月三十一日)	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 長 及 副 隊 長 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る	隊 員 の 自 治 管 理 に 關 し の 訓 練 に 着 目 す る

昭和十四年三月三十一日現在

東部防衛司令部

幹部教育ニ就テ

昭和十四年四月一日
東部防衛司令部

- 一、幹部教育ノ目的ハ幹部ヲシテ其ノ精神的要素ヲ涵養シ警防ノ學識技能ヲ練磨シ教育法及指揮ニ熟達セシメ統御ノ道ヲ體得シ以テ其ノ職責ヲ完全ニ遂行セシムルニ在リ
- 二、幹部ノ教育ハ警防團一般教育訓練及警防實施ノ際ニ於テ實施スルハ勿論特ニ時間ヲ設ケテ之ヲ實施シ其ノ進歩向上ヲ圖ルコト緊要ナリ
- 三、幹部教育ノ爲實施スベキ重要ナル課目、方法等左ノ如シ、之等ノ教育ニ付テハ軍部ニ於テ特ニ協力ス
- ノ班、部、分團、團ノ實員ノ指揮
- 2 幹部實設訓練
- 3 現地戰術ニ準ジテ行フ現地教育

4. 兵棋ニ準ジテ行フ警防業務ノ演練

5. 圖上戰術ニ準ジテ行フ警防業務ノ演練

6. 其ノ他各部業務ノ特性ニ應ジ必要ナル事項

7. 警防史

8. 教育法

9. 體操

10. 講話及會同ノ學術的研究

11. 課題作業

12. 通信法

以上ノ外警防知識ヲ増進シ必要ナル諸法規竝ニ我が國土防空ノ特質及外國ニ於ケル警防特ニ航空防空ノ事情等ヲ知得セシメ且警防團ノ和衷團結ニ要スル教養ヲ全カラシムル爲諸種ノ手段ヲ講ズルモノトス

四昭和十四年九月迄ニ警防團ハ綜合訓練ノ爲活動シ得ル如ク幹部ノ指揮能力ヲ附與シ置クモノトス

警防團永年教育順次表

昭和十四、四、十一
東部市衛司令部

課	目	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度以降
---	---	--------	--------	----------

一 習熟敏捷ヲ圖リ教育ヲ完結ス
 二 毎年團員ノ補充ニ伴ヒ必要ナル補備教育ヲ実施シ他ノ團員ト伍シテ活動ニ得ルニ至ラシム

一 警防團員ノ教育ハ其ノ任務ニ依リテ必要ナル知識技能ヲ修得スルニ在リ
 二 警防團員ノ教育ハ其ノ任務ニ依リテ必要ナル知識技能ヲ修得スルニ在リ
 三 警防團員ノ教育ハ其ノ任務ニ依リテ必要ナル知識技能ヲ修得スルニ在リ
 四 警防團員ノ教育ハ其ノ任務ニ依リテ必要ナル知識技能ヲ修得スルニ在リ

職	務
團長	警防團員ノ教育ヲ監督スルニ在リ
副團長	警防團員ノ教育ヲ補助スルニ在リ
團員	警防團員ノ教育ヲ受ケルニ在リ



警防團永年教育順次表

昭和十四、四、一
東部防衛司令部

課目	一般要領	精神教育		一般訓練		業務訓練		學科	備考
		各	個	各	個	各	個		
昭和十四年度	警防上精神及規律ノ重要性ヲ自覚セシメ訓練ニ依リテ之ヲ養成シテ漸次業務、訓練ニ於テ之ヲ徹底シ努力ノ技術ノ習熟ニ向テ之ヲ訓練スルル	言談姿勢態度及行進禮式等ヲ嚴正ナラシメ警防精神ヲ鍛錬シ警防規律ヲ敬肅シ團體訓練ノ確乎ナル基礎ヲ作ル	團體ノ禮式、行動ヲ嚴正ニシ團體ノ團結ヲ鞏固ニシ衷心ヲ一致ニシ齊一ニ行動スルヲ得ルニ至ラシム	所屬班ノ業務、基礎動作ヲ完全ニ會得シ團體訓練ノ確乎ナル基礎ヲ得ルニ至ラシム	班ノ分團ノ順應ニ其ノ長ヲ核心トシテ團體ニ其ノ命令ニ從ヒ担任ノ業務ヲ完全ニ實施シ得ルニ至ラシム	警防全般及各業務ニ必要ナル法規及實施要領ヲ訓練、進歩ニ從ヒ順次教育ス	警防全般ニ關スル法規其ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確ハシ會得セシム	前年度ノ程度ヲ向上シ且專務外ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム	一、警防團訓練ハ精神訓練ヲ根本トシ警防業務ニ關シテハ當該地方ノ特質、部班ノ業務ニ應ジ輕重本末緊急度ヲ考ヘテ重点ヲ定ムベキモ一般ニ警報伝達燈火管倒、消防ニ重点ヲ置クモノトス 二、幹部教育ハ各種訓練ニ必要ナル教育能力ヲ附與シ且團體指揮ノ能力ヲ附與シ之ガ向上ヲ圖ル 三、警防團教育ハ二年間ヲ以テ完成スルモノトシ第一年度ニ於テハ基本的動作ヲ確實ニ行フヲ主眼トシテ教育ノ概成シ第二年度ニ於テハ各動作ノ習熟敏捷ヲ圖リ教育ヲ完成ス 四、毎年團員ノ補充ニ關シテハ補充教育ニ必要ナル補備教育ヲ實施シ他ノ團員ト伍シテ行動スルニ至ラシム
昭和十五年度	特ニ時間ヲ設ケテ精神教育ヲ行フト共各種訓練ニ於テ之ガ具現ヲ圖リ技術ノ習熟ト相俟テ之ヲ與ヘテ嚴格ニ團體行動ヲナシ得ルニ至ラシム	竹間明ナル言談端正ナル姿勢、明確ナル態度、整齊活潑ナル行進、嚴正ナル禮式等ヲ確實ニ會得シ得ルニ至ラシム	整理整頓行進禮式其ノ他動作ヲ概テ整齊確實ニ行ヒ得ルニ至ラシム	所屬班ノ業務ノ基礎動作ヲ確實ニ行ヒ得ルニ至ラシム	所屬班毎ニ其ノ班ノ動作ヲ確實ニ行ヒ得且部及分團ノ行動ヲ概テ確實ニ行ヒ得ルニ至ラシム	警防全般ニ關スル法規其ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム	前年度ノ程度ヲ向上シ且專務外ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム	前年度ノ程度ヲ向上シ且專務外ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム	
昭和十六年度以降				前年度ノ程度ヲ向上シ且專務外ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム					前年度ノ程度ヲ向上シ且專務外ノ他ノ業務ニ必要ナル事項ヲ確實ニ會得セシム

昭和十四年度警防團教育順次表

昭和十四年度、四、一、一
東部防衛司令部

課目	前期 (至四期)		中期 (至八期)		後期 (至十二期)	
	精神教育	一般訓練	專業訓練	學科	備考	備考
前期 (至四期)	一、警防精神警防規律其、他警防團教育綱領ノ精神的要素ニ就キ自 覺徹底ヲ圖ル 二、各訓練ヲ通ジテ終始之ガ涵養陶冶ヲ圖リ諸般ノ訓練ヲ擧ケテ精神 訓練ニ歸納スルノ態ヲ以テ教育ヲ行フ	一、陸軍ノ步兵操典ノ各個教練 基本ノ部ニ準ジ且警防團 禮式令ノ團員教練ノ部ニ依 リ訓練シ概テ確実ニ動作シ 得ルニ至ラシム	一、陸軍ノ步兵操典ノ中隊教練 集ノ部ニ準ジ且警防團禮式 令ノ團員教練ノ部ニ依リ訓練 シ約五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、所屬各々其ノ専門的事項ヲ 訓練シ各個ニ基礎動作ヲ 概テ確実ニ行ヒ得ルニ至ラシ ム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム
中期 (至八期)	一、警防精神警防規律其、他警防團教育綱領ノ精神的要素ニ就キ自 覺徹底ヲ圖ル 二、各訓練ヲ通ジテ終始之ガ涵養陶冶ヲ圖リ諸般ノ訓練ヲ擧ケテ精神 訓練ニ歸納スルノ態ヲ以テ教育ヲ行フ	一、陸軍ノ步兵操典ノ各個教練 基本ノ部ニ準ジ且警防團 禮式令ノ團員教練ノ部ニ依 リ訓練シ概テ確実ニ動作シ 得ルニ至ラシム	一、陸軍ノ步兵操典ノ中隊教練 集ノ部ニ準ジ且警防團禮式 令ノ團員教練ノ部ニ依リ訓練 シ約五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、所屬各々其ノ専門的事項ヲ 訓練シ各個ニ基礎動作ヲ 概テ確実ニ行ヒ得ルニ至ラシ ム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム
後期 (至十二期)	一、警防精神警防規律其、他警防團教育綱領ノ精神的要素ニ就キ自 覺徹底ヲ圖ル 二、各訓練ヲ通ジテ終始之ガ涵養陶冶ヲ圖リ諸般ノ訓練ヲ擧ケテ精神 訓練ニ歸納スルノ態ヲ以テ教育ヲ行フ	一、陸軍ノ步兵操典ノ各個教練 基本ノ部ニ準ジ且警防團 禮式令ノ團員教練ノ部ニ依 リ訓練シ概テ確実ニ動作シ 得ルニ至ラシム	一、陸軍ノ步兵操典ノ中隊教練 集ノ部ニ準ジ且警防團禮式 令ノ團員教練ノ部ニ依リ訓練 シ約五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、所屬各々其ノ専門的事項ヲ 訓練シ各個ニ基礎動作ヲ 概テ確実ニ行ヒ得ルニ至ラシ ム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム	一、前期課目ノ程度ヲ向上シ約 百五十名位ノ團體ヲ以テ概 テ確実ニ動作シ得ルニ至ラ シム

第一、...
 第二、...
 第三、...
 第四、...
 第五、...

第六、...
 第七、...
 第八、...
 第九、...
 第十、...

第十一、...
 第十二、...
 第十三、...
 第十四、...
 第十五、...

第十六、...
 第十七、...
 第十八、...
 第十九、...
 第二十、...

第二十一、...
 第二十二、...
 第二十三、...
 第二十四、...
 第二十五、...

種別	名称	所在地	備考
第一種	第一
	第二
第二種	第一
	第二
第三種	第一
	第二
第四種	第一
	第二
第五種	第一
	第二
第六種	第一
	第二
第七種	第一
	第二
第八種	第一
	第二
第九種	第一
	第二
第十種	第一
	第二

参考表

昭和十四年度警防團教育課目及程度表例

昭和十四、四、一
東部防衛司令部

課目

前期 (至四月)

中期 (至八月)

後期 (至十二月)

精神教育

一 警防上精神要素ノ重要性ヲ自覚セシム
 二 警防精神警防規律其ノ他教育綱領ノ精神的要素ニ就キ自覚徹底ヲ圖ル
 三 各訓練ヲ通ジテ終始之ガ涵養陶冶ヲ圖ル

一各

一 不動ノ姿勢
 二 右(左)半右(左)向、後向
 三 行進(運歩、駐歩)
 四 折敷、伏臥
 五 室内及室内散禮
 六 服裝整備
 七 復唱、復命
 八 其他必要事項以上ヲ概テ確
 實ニ行フニ至ラシム

一 前期課目ノ程度ヲ向上ス
 二 傳令動作
 三 夜間動作
 四 禮式各動作
 五 其他必要事項

一 中期程度ヲ向上シ確實
 嚴正ニ行ヒ得ルニ至ラシ
 ム

一各

一 編隊整列整頓、休メ、集合解
 散
 二 右(左)向、後向
 三 方向及隊形變換
 四 行進
 五 團體ノ敬禮
 以上ハ隊中ノ動作ヲ確定ニ中
 隊、分團、單ヲ以テ行フ得ル
 ニ至ラシム
 小隊ハ三ノ月乃至五ノ名、中隊ハ小
 隊トシテ三ノ乃至一五ノ名、大隊ハ
 三乃至四中隊ヲ基準トシ班、分
 團、組織ヲ混淆セザル如ク編
 隊ス

一 前期課目
 二 折敷、伏臥
 三 禮式、分列式
 四 其他必要ナル事項
 以上中隊ノ動作ヲ確定
 一 行ヒ得ルニ至ラシム

一 中期程度ヲ向上シ大隊又
 ハ團ヲ以テ確ニ整備確實
 ニ行動シ得ルニ至ラシム

團體

一 防空警報ノ目的、意義種類
 二 傳令動作
 一 傳達區域順路傳達要領受信
 二 班(部)ノ部署、警備連絡
 以上班ヲ以テ概テ確實ニ行フ

一 前期程度ヲ向上
 二 警報傳令施設ノ設置、取扱ノ
 一部傳令要領傳達用器具
 材取扱

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

警報

一 燈火管制ノ目的、意義種類方
 法其他必要ナル知得
 二 實施要領、着意事項、指導及
 点檢ヲ主トシテ一般屋外燈及一般
 家庭、燈火ニ就テ行フ

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
 概テ確實ニ行フ
 二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長
 指揮下ニ在リテ活動スルニ慣
 レシム

燈火管制

一 實施、点檢、指導區域順路着
 意、燈火ノ種類、方法
 二 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ

一 前期以外各種燈火管制實施
 施要領指導及点檢
 二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

業

消防

一 以災其他災害、原因豫防ノ知
 得
 二 防空消防、平時消防ノ要領
 三 家庭消防ノ要領
 四 各種器具ノ取扱法、吸水、放水、注水

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
 テ確實ニ行フ
 二 破壞消防
 三 水災其他ニ於ケル動作
 四 消防器具ノ取扱法、吸水、注水、連絡

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

防團

一 警報ノ目的、要領
 二 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ
 三 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
 テ確實ニ行フ
 二 破壞消防
 三 水災其他ニ於ケル動作
 四 消防器具ノ取扱法、吸水、注水、連絡

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

警各

一 警報ノ目的、要領
 二 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ
 三 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
 テ確實ニ行フ
 二 破壞消防
 三 水災其他ニ於ケル動作
 四 消防器具ノ取扱法、吸水、注水、連絡

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

復

一 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ
 二 班(部)ノ行動、部署、警備以上
 班ヲ以テ概テ確實ニ行フ

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
 テ確實ニ行フ
 二 破壞消防
 三 水災其他ニ於ケル動作
 四 消防器具ノ取扱法、吸水、注水、連絡

一 中期程度ヲ向上シ習熟完
 成ス

業

消 各 個

一 火災其他災害原因預防ノ知
二 防空消防ノ要領
三 家庭消防ノ要領
四 各種器具ノ取扱法等ノ吸放水注水

一 前期程度ヲ向上
二 水利給水施設ト之ガ利用
三 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ習熟完成ス

防 團 体

一 班ノ以テスル各種消防要領
二 班内及班間之協力及要領
三 消防ノ判断ノ部署ノ行動運路
四 消防班ノ以テスル活動ノ概要

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 概ヲ行フ
三 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ
指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

警 各 個

一 警報ノ目的、要領
二 立哨警戒、巡察及防犯監視等ノ
動作
三 運路運送ノ法

一 前期程度ヲ向上
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ習熟完成
ス

護 團 体

一 班ノ以テスル以テ立哨警戒、巡察防
護監視等ノ動作
二 班ノ部署、管理
三 警務区域内ノ状況及注意

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ
指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

交 通 通 理

一 交通整理ノ交通警備員及令
ノ目的及一概要
二 交通整理ノ方法
三 避路指導ノ方法

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ指
揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

防 毒 各 個

一 班ノ行動、部署、管理、運路
二 班ノ以テスル防毒、市民ノ指導、
見守等ノ動作、見守等ノ判断
三 見守等ノ判断、見守等ノ判断
四 見守等ノ判断、見守等ノ判断
以上一時期見守等ノ判断、見守等ノ判断
ノ概要

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
概ヲ行フ
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ
指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

救 護 各 個

一 傷者ノ取扱法
二 救急法
三 傷者ノ運搬法
四 必要ナル者ニ治療法

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ
指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

避 難 各 個

一 各種避難(待避、防護等)ノ要
二 避難所各條ノ服務方法
三 其他必要ナル事項

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ習熟完成
ス

工 作 各 個

一 工作ノ目的、種類、要領ノ知得
二 簡単ナル備置法、電気水道、見守
關係ノ簡単ナル工作法
三 破壊ノ跡、不審者、其他ノ始末方法

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ指
揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

作 業 團 体

一 班ノ以テスル簡單ナル前哨作業ノ
要領
二 班ノ部署、管理、運路

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ指
揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

配 給 各 個

一 配給ノ目的、取扱方法、要領
二 配給所要品ノ調査、取扱集積、調
理分配ノ要領
三 其ノ種載法

一 前期程度ヲ向上
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ指
揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

給 團 体

一 班ノ以テスル以テ調理分配、
二 班ノ部署、管理、運路

一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概
二 他ノ一業務ノ概要

一 中期程度ヲ向上シ分團長ノ指
揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム

學

一 團員全般ニテ前期ノ於テ先ツ左ノ諸法ヲ修シ
他必要ナル部分ノ日得セシム
中期後期ニテテ中ノ部ヲ教育シ
セシム
一 防空ノ概要、防空団ノ
一 防空法、同部行令

一 防空ノ概要、防空団ノ
一 防空法、同部行令
一 防空資材ノ保管、同部
一 防空資材ノ保管、同部

考 備	學 科	練			
		避 各 個	難 團 體	工 各 個	作 團 體
<p>一前期中ニ基本的事項ヲ六体教育シ中期ニ於テ末教育ノ分及細部ノ事項ヲ教育シ且訓練ヲ重シ後期ニ於テ補備及習熟ヲ重スル要領ニテ教育ス</p> <p>二各部署務ハ各部署ニ通リ教育スルモ重要課目ニ就キ特ニカヲ用フ</p> <p>三各訓練ノ進歩ニ伴ヒ得ル如ク先ツ幹部ノ技能ヲ向上ス</p> <p>四本順次表ニ基キ警防團ハ年度(又ハ各期)月別(又ハ週別)及各日(又ハ回次)課目別ノ具体的教育計畫ヲ作製スルモノトス年度教育計畫表様式ノ一例附屬表ニ如シ</p>	<p>一團員全數ニ前報ニ於テ先ツテ訓練法ヲ示シ他必要ナル部分ヲ日得セシメ且進歩ノ中期後期ニ於テ更ニ細部ヲ教育シ得得理解セシム</p> <p>二軍防空ノ概要一防空体系</p> <p>三防空法、同施行令</p> <p>四官廳防空令、防空委員會令</p> <p>五警防團令、同施行細則</p> <p>六警防團禮式、々々</p> <p>七防空監視規程、服務規程</p> <p>八防空通信規程、同取扱規程</p> <p>九府縣市町村防空計畫及其防空業務規程</p> <p>十防空救急救護ニ關スル規定</p> <p>十一東部國民防空訓練指導要綱(綱領ノ一節)</p> <p>十二其ノ他必要ナル事項</p>	<p>一各種避難(待避、防護ノ合ム)要領</p> <p>二避難所各條ノ服務方法</p> <p>三其ノ他必要ナル事項</p>	<p>一各種避難(待避、防護ノ合ム)要領</p> <p>二避難所各條ノ服務方法</p> <p>三其ノ他必要ナル事項</p>	<p>一工作目的、種類、要領ノ知得</p> <p>二簡單ナル構築法、管氣水道、見守</p> <p>三關係ノ簡單ナル工作法</p> <p>四破壊ノ跡、不審者其他ノ知不方法</p> <p>五他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報ニ於テ簡單ナル前報作業ノ要領</p> <p>二班ノ指導、管理、監督、連絡</p> <p>三班ノ指導、管理、監督、連絡</p>
		<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>
	<p>一防火警備規則及同細則並同解説</p> <p>二國有鉄道及運送官署、燈火取扱内規</p> <p>三防空建築規則及同細則</p> <p>四防空建築規則及同細則</p> <p>五陸軍兵隊、作戦要務令、陸軍教育令</p> <p>六東部國民防空訓練指導要綱</p> <p>七防護團幹部及團員必携草案</p> <p>八防空演習、市民自衛防衛必携</p> <p>九陸軍各種關係規程</p> <p>十其ノ他參考書類</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一前報程度ノ向上シ細部ヲ以テ概不確定ニ行フ</p> <p>二他ノ一業務ノ概要</p>
		<p>一中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p> <p>二中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p>	<p>一中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p> <p>二中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p>	<p>一中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p> <p>二中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p>	<p>一中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p> <p>二中期程度ノ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム</p>

<p>團</p> <p>第一團</p> <p>第二團</p> <p>第三團</p> <p>第四團</p> <p>第五團</p> <p>第六團</p> <p>第七團</p> <p>第八團</p> <p>第九團</p> <p>第十團</p>	<p>第一師</p> <p>第二師</p> <p>第三師</p> <p>第四師</p> <p>第五師</p> <p>第六師</p> <p>第七師</p> <p>第八師</p> <p>第九師</p> <p>第十師</p>	<p>第一軍</p> <p>第二軍</p> <p>第三軍</p> <p>第四軍</p> <p>第五軍</p> <p>第六軍</p> <p>第七軍</p> <p>第八軍</p> <p>第九軍</p> <p>第十軍</p>
--	---	---

陸軍部

陸軍部編制表

陸軍部編制表

瓦斯防獲少携

軍隊內務書

作戰要務令

担架取範

工兵操典

体操取範

瓦斯防獲少携

內務省

消防部員ニ在リテハ消防署長ヨリ消防部長ニ報告セラルヘシ

訓練實施要領

一 實施課目

(一) 訓育

- 1 宮城遙拜
 - 2 黙禱
 - 3 早朝神社參拜
 - 4 訓話 (團員任命(結成)式ニ於ケル警視總監告辭ノ徹底特ニ警視總監ノ強調)
- (二) 官務
- 1 禮式
 - 2 點檢
 - 3 各個教練
 - 4 號令調整 (主トシテ部長以上ノ幹部)

5 團體訓練（部隊行動基本動作）

6 消防部特別班ニ對シテハ脚筒操法（水管車操法）

ニ實施方法

(一) 訓練ハ警防精神ヲ基調トシテ實施シ理論形式ニ促ハレス之ガ具現ヲ第一事ト爲スコト

(二) 訓練ハ消防組織式令、消防組點檢規則、消防組操典ヲ準用實施スルコト

(三) 班分ノ間班長以上ノ幹部ニ對シ前項(一)ニ依ル實務ニ習熟セシメタ後之ガ幹部ヲシテ一般團員ヲ訓練セシメ警察消防署長ハ主トシテ之ガ補足指導ニ任スルコト

(四) 訓練實施ハ早朝・夕餐後・又ハ休日等ヲ選ヒ生業ニ支障ナカラシムル様特ニ留意スルコト

(五) 實施時間ハ概ネ一時間乃至二時間ヲ限度トシ長時間ニ亘ラザルコト

(六) 警防團員ノ數ニ依リ區、分團又ハ部單位ニ實施シ回数ハ管内ノ實情ニ應シ適宜定ムルコト

(七) 實施ニ當リテハ急激ナル訓練ヲ避ケ且ツ隣ニ失スルコトナキ様遂次矯正指導シ訓練ニ對スル積極的氣風ヲ醸成スル様努ムルコト

(八) 訓練終了シタルトキハ必ス其ノ成績ヲ講評シ爾後ニ於ケル練成向上ニ資セシムルコト

(九) 訓練ヲ實施シタルトキハ日時、場所、課目、實施時間、出場人員訓練官氏名、成績並ニ講評ノ概要等ヲ記録シ書クコト

(十) 防火管制、防煙、救護工作等ノ訓練（講習ヲ含ム）ハ具體的指示ヲ俟テ之ヲ實施スルコト

三廿ノ他

訓練手當ハ之ヲ支給セス

(別記様式)

警防團員訓練實施報告

事

項

警 察 署

種 別	日時場所並ニ實施時間	警防團名(分團名)	出場團員數	實施課目	成績概要	指導員氏名	備考
			名(内詳 團長 副團長 分團長 副分團長 警班副防部員長長)				

警防團指導訓練要綱

安本

第一章 綱 領

第一、 警防團ノ任務ハ防空水火消防其
ノ他ノ警防ニ從事スルニ在リ
警防團ハ防空水火消防其ノ他ノ警防
ニ從事スヘキモノニシテ而モ他面ニ
於テ警民ノ楔トナリ國民ノ指導者ト
ナリ民衆ノ保護者タラサルヘカラス
而シテ之カ重要ナル職司ヲ完フスル
ニハ平素ニ於ケル教養訓練ニ俟タサ
ルヘカラス
團員個々ニハ優秀ナル者ヲ得ルモ之
ニ適切ナル教養訓練ヲ施サレハ眞

ニ渾然一体トナリ團長ヲ核心トスル
統制アル活動ハ至難ナリト云フヘシ
而シテ之カ訓練ノ重要ハ警防精神ノ
体得ト團體活動ノ訓練及警防技術ノ
習熟ニ在ルヲ以テ幹部ハ至誠温情以
テ部下ヲ統ヘ率先垂範之ニ當リ下ハ
服從ヲ旨トシ以テ上下戮力協心以テ
精華ヲ得ルニ努メサルヘカラス
第二、 警防團ハ國民警防ノ核心ニシテ
國民一体トナリ警防活動ニ從事セサ
ルヘカラス
凡ソ有事ノ場合ニ於ケル治安ノ維持

ハ國民總動員ノ体制ヲ以テセサルヘ
カラス而シテ警防團ハ警察消防ノ補
助機關トシテ國民警防ノ核心ヲ爲ス
モノナルヲ覺ラサルヘカラス
警防團員ハ其ノ職責ニ鑑ミ表裏ナク
全力ヲ傾注シ之カ遂行ニ努メ之カ活
動ニ當リテハ他人ニ倚賴シ若クハ事
毎ニ上司ノ指示ヲ仰キ責任ヲ免ル
カ如キコトアルヘカラス又上級者ハ
常ニ部下團員ノ指導ニ力ヲ致シ剴切
ナル監督ヲ行ヒ嚴ニ其ノ職責ヲ重
シ警防ノ全キヲ期セサルヘカラス

而シテ警防團員ハ市區町村内ノ有能
ナル士ヲ選抜シタルモノニシテ郷閭
ノ重要部ヲ占ム從ツテ之カ言動ノ善
悪ハ直ニ郷閭ノ風尚ヲ左右シ國民精
神ニ至大ノ影響ヲ及ホスモノナリ
蓋シ警防團ニ於テ修得セル無形上ノ
資質ハ以テ社會ノ風潮ヲ向上スヘク
國民ノ儀表トナリ質實剛健ノ氣風ヲ
馴致シテ國家ノ隆興ヲ増進シ得ヘケ
レバナリ
是ヲ以テ團員ハ自ラ修養スヘク警防
團教育ノ任ニ當ル者ハ併テ國民ノ模

範典型ヲ陶冶スルノ慨ナカルヘカラス
國民ニ接スルニハ常ニ懇切丁寧温和
ヲ第一トシ市民ノ愛敬ヲ得ルコトニ
努ムヘシ妄リニ權義ノ末梢ニ走リ暴
威ヲ振フカ如キコトアルヘカラス
第三 警防精神ハ忠君愛國義勇奉公ノ
至誠カ警防ノ職司ヲ通シテ發スル國
民精神ノ精華ナリ
警防精神トハ畢竟日本精神カ警防ノ
職司ヲ通シテ表現セラル、モノニシ
テ萬邦無比ノ我カ國家ノ精華ヲ益々

顯揚シ盡忠報國皇謨ヲ翼贊シ奉ルヲ
念トシ常ニ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛
健ノ氣風ヲ養ヒ嚴正ナル紀律ヲ保チ
率先範ヲ郷閭ニ垂レ一旦危急ニ際シ
テハ身ヲ挺シテ難ニ赴キ殫レテ後已
ムノ覺悟ヲ以テ國土ノ防衛ト災厄ノ
防遏ニ努メサルヘカラス而シテ之ハ
理論ノ唱導ニヨリ把握セラル、モノ
ニ非ズシテ實踐ヲ通シテ之ヲ体得セ
サルヘカラス
義勇奉公ハ我國民最高ノ道德タリ死
シテ義ヲ取り恥ヲ知り名ヲ惜ミ責任

ヲ重シ艱苦ニ堪ヘ奮テ難局ニ赴キ悦
ンデ任務ニ殫ルハ我國民古來繼承
シテ尊重セル大和魂ニシテ特ニ警防
團員ニ必須ノ資性ナリ特ニ空襲ニ際
シテ恐ル可キハ物的損害ヨリモ精神的
動搖ニ在リト云フヘク敵國ハ國防資
源ト施設ヲ破壊スルヲ主目的トスル
ハ勿論ナルモ尚同時ニ國民生活ノ資
源ヲ破壊シ流言蜚語ヲ盛ニシ國內治
安ノ攪亂ヲ企ツヘシ
是ニ於テ警防ノ職司ニ在ル者ハ國民
ヲ指導シ進ムデ之ヲ豫防シ且之カ阻

止ニ當ラサルヘカラス
警防精神ノ確立コソ眞ニ緊切ナルヲ
知ルヘシ
是ニ於テコソ其ノ職責タル國土防衛
ト資源擁護ヲ完フシ得ルト共ニ他面
郷閭ノ中堅團體トシテ郷閭ノ範トナ
リ以テ國民精神ノ昂揚ニモ貢獻シ得
ル所以ナルヲ覺ラサルヘカラス
第四、警防規律ハ警防團ノ命脈ナリ警
防團員ハ常ニ之カ振作セサルヘカラ
ス

警防規律コソ上團長ヨリ下班員ニ到

ル迄一貫セル脈絡ニシテ長ヲ核心ト
シ一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致行動ニ
就カシムルコトヲ得ルモノニシテ時
ト場所ヲ論セス上下齊シク規定ヲ恪
守シ熱誠以テ警防ニ從事シ命令必ス
遂行セラレサルヘカラス
而シテ之カ要素ハ自己ヲ忘レ團ノ職
責ニ應シ上ニ服従スルニ在リ
服従ノ元ハ禮徳ニ在リ故ニ團員ヲシ
テ互ニ敬惠シ至誠上長ニ服従シ命令
確守ノ精神ヲ培養セサルヘカラス
第五 警防團員ハ身体ヲ鍛ヒ常ニ志氣

ヲ旺盛ナラシメサルヘカラス
体力強健ナレハ志氣モ亦旺盛トナリ
氣象ノ変易ニ克テ困苦缺乏ニ堪ヘ各
種ノ任務ヲ完全ニ遂行スルヲ得ヘシ
故ニ團員ハ身体ヲ鍛ヘ筋骨ヲ練リ持
久カヲ養ヒ以テ至難ナル任務ヲ盡ス
ニ遺憾ナキヲ期セサルヘカラス
凡ソ事ニ當リテハ積極的ニシテ犠牲
献身ノ精神ヲ堅持シ鞏固タル意志ヲ
保持スルノ志氣ノ振作こそ緊切ナリ
志氣旺盛ナレハ之ニ依リ技術ハ精巧
トナリ訓練之ニ依リ光ヲ放ツヘシ

幹部ハ常ニ團員ノ志氣ヲ振興シ勇往邁進斃レテ後已ムノ氣慨ヲ充溢セシメサルヘカラス

第六 警防團員ハ上下一体和衷協同ヲ旨トスヘシ
上下一体和衷協同ハ警防ノ目的達成上極メテ重要ナリ是ヲ以テ警防團ハ各分團各部各班ヲ論セ又上下ヲ問ハス戮力協心以テ有機的活動ノ實ヲ擧ゲザルヘカラス
私情私心ヲ去リ各々其ノ職責ヲ重シジ一意任務ノ遂行ニ努力スルハ自ラ

協同一致ノ成果ヲ齎ス所以ナルヲ覺ラサルヘカラス

第七 警防團幹部ハ團結ノ核心ニシテ指揮ノ中樞ナリ
警防團幹部ハ指揮ノ中樞ニシテ又團結ノ核心ナリ常ニ熾烈ナル責任觀念ト鞏固ナル意志ヲ以テ其ノ職責ヲ遂行スルト共ニ高邁ナル徳性ヲ備へ部下ト苦樂ヲ俱ニシ率先躬行勇猛沈着以テ警防團ノ儀表トシテ其ノ尊信ヲ受ケ部下ヲシテ仰キテ富嶽ノ重キヲ感セシメサルヘカラス



而シテ防空ハ一ツノ戦闘ナルヲ以テ
防空指揮ニ當リテハ獨断ヲ要スルモ
ノ少ナカラサルヘシ獨断ハ其ノ精神
ニ於テ服従ト反スルモノニ非ス常ニ
指揮者ノ意圖ヲ明察シ忖度シ狀況ヲ
判断シ變化ニ應シ其ノ目的達成ノ最
良ノ方法ヲ選ハサルヘカラス其ノ獨
断事ヲ處シタル場合ハ速ニ指揮者ニ
報告スルヲ要ス

第二章 總則

第八、 警防團訓練ノ目的ハ幹部及團員
ヲ訓練シテ有事ノ日防空其ノ他ノ警

防ノ任ニ當ラシムルニ在リ而シテ之
カ訓練ノ要素ハ警防精神ノ涵養警防
規律ノ養成ヲ第一義トナサ、ルヘカ
ラス

第九、 訓練ハ土地ノ狀況並ニ警防上ノ
特質ニ鑑ミ事ノ輕重本末ト緊急度ヲ
考察シ之カ重点ヲ把握シテ行ハサル
ヘカラス

第十、 訓練員ハ率先躬行以テ範ヲ垂レ
一令ノ下依然之ニ服セシメサルヘカ
ラス

第十一、 訓練ニ當リテハ時ト所ヲ論セ

又諄々薰化シテ内ハ心ヲ整ヘ外整正

嚴格ニ實施セサルベカラス

第十二 訓練ノ企畫ハ周到適切ナルヲ

要シ之カ實施ハ順序ヲ逐ヒテ行ハサ

ルヘカラス

第十三 訓練ニ當リテハ警防ノ職任ヲ

必達スルノ精神ヲ培養スルニ努メサ

ルヘカラス

第十四 國民防空ハ戰鬥ナルニ鑑ミ之

カ指導訓練ニ當リテハ百事簡單ニシ

テ精練ナルヲ要ス

第十五 防空諸動作ノ訓練ニ當リテハ

之ニ習熟セシムルハ勿論ナルモ常ニ

精神ノ振作ニ努メサルヘカラス

第十六 防空ノ訓練ニ際シテハ現況現

示ヲ適切ニシ努メテ防空實施ニ應セ

シムルニ努メサルヘカラス

第三章 幹部訓練

第十七 幹部教育ノ目的ハ幹部ヲシテ

其ノ精神的要素ヲ涵養シ警防ノ學識

技能ヲ練磨シ教育法及指揮ニ熟達セ

シメ統御ノ才能ヲ体得セシメ以テ其

ノ職責ヲ完全ニ遂行セシムルニ在リ

第十八 幹部ノ教育ハ警防團一般訓練

ニ於テ實施スルノ外特ニ時間ヲ設ケ
テ之ヲ實施シ其ノ進歩向上ヲ圖ル
要ス

第十九

幹部教育ニ於ケル課目及方法

ハ概ネ左ニ依ラルヘシ

(1) 警防關係法令並ニ知識ノ増進

(2) 警防團ノ統制特ニ和衷團結ニ要ス

ル教養

(3) 團分團部班ノ指揮

(4) 現地ニ行フ實地教育

(5) 警防業務ノ演練

(6) 圖上演練

(7) 警防史

(8) 教育法

(9) 体操

(10) 講話並ニ警防ニ關スル研究會

(11) 課題ニ依ル教育

(12) 通信法

第四章

教育課程

第二十

警防團訓練ハ精神訓練ニ根本

ヲ置キ警防業務ニ關シテハ土地ノ狀

況及部班ノ業務ニ應シ輕重本末緊急

度ヲ考ヘ訓練ノ重点ヲ定メ實施セラ

ルヘキモ一般ニハ警報傳達燈火管制

消防ニ重点ヲ置カルヘシ

第二十一 警防團ノ訓練ハ概ネニケ年
ヲ以テ完成セシムルヲ目標トシテ訓
練計畫ヲ樹テラルベク第一年度ニ在
リテハ基本動作ヲ確實ニ行フヲ主眼
トシ第二年度ニ在リテハ各動作ノ習熟
敏捷ヲ圖リ完成セシムル様訓練セラ
ルヘシ

第二十二 團員ノ異動又ハ補充ニ際シ
テハ速ニ必要ナル補充教育ヲ實施シ
他ノ團員ニ伍シテ活動シ得ル様訓練
セララルヘシ

第二十三 体操ノ實施ハ別添体操實施

要綱ニ依ラルヘシ

第二十四 教育課程並ニ指導要領標準
ハ概ネ附表第一ニ依ラルヘシ

第二十五 第一年度タル本年度ニ於ケ
ル教育課程並ニ指導要領ハ概ネ附表
第二ニ依ラルヘシ

警防團教育要領並ニ進度標準

課目

一般要領

昭和十四年度

昭和十五年度

昭和十六年度以降

(1) 訓練綱領ニ基キ訓練ヲ終始シ警防精神並ニ規律体得徹底ヲ期シ輩級ノ下ニ在ル警防團ノ特性ヲ發揮セシム

別表ニ示スル

昭和十四年度ニ於ケル警防團訓練表

訓練方針	警防團訓練方針ニ基キ實施スルモ本年度ニ於ケル進度ノ標準ヲ左ニ置ク 前期中ハ未熟ナカラシメ警防實施ヲ行ヒ得ル如ク概テ一通ノ教育ヲ行フ 中期ハ各團動作ノ整齊トシテ其獎勵動作ニ中斷ハ無ク即チ以テ之ヲ動作ニ後期
課目	前期 (至四月) 中期 (至九月) 後期 (至三月)

昭和十四年度ニ於ケル警防團訓練表

備考	學科	業務各個	一般訓練		精神訓練	訓練方針	課目								
			團體	各個			前期 (至四月)	中期 (至九月)	後期 (至三月)						
傳令訓練要領ハ別ニ示ス	防空全般ニ關スル學科及自己ノ専門的業務ノ進歩ニ伴ヒ教授ス	各所屬毎ニ其ノ専門的事項ヲ訓練シ各個ニ基礎動作ヲ確立セシム	警防操典ニ依リ小隊及小隊教練且警防禮式依リ部隊教練ヲ訓練シ約五ノ名程度ノ部隊ヲ以テ確實ノ動作ヲ得至ラシム	警防操典ノ各綱教練ニ準ジ且警防禮式依リ訓練シ概ニ確實ノ動作ヲ得至ラシム	警防精神ヲ規律其ノ他訓練綱領ノ精神の要素ニ就キ自覺徹底ヲ期ス	警防團訓練方針ニ基キ實施スルモ本年度ニ於ケル進歩ノ標準ヲ左ニ置ク (1) 前期中ハ未熟ナカラ警防ノ實施ヲ行ヒ得ル如ク概ニ一通ノ教育ヲ行フ (2) 前期ハ各個動作ノ部隊トシテノ基礎動作ニ中期ハ班ハ部ヲ以テスル動作ニ後期ハ分団ヲ以テスル動作及他トノ模同動作ニ重点ヲ置キ訓練ス	前期課程ヲ向上スルト共他ノ一業務ニ關スル學科ヲモ教授シ訓練ノ進歩ヲ資ス	前期課程ノ程度ヲ向上シセシム	前期課目ノ程度ヲ向上シト共他ノ一業務ヲ會得セシム	中期程度ヲ向上シ習熟セシメ専門的業務ノ訓練ヲ完成ス	中期程度ヲ向上シ習熟セシメ専門的業務ノ訓練ヲ完成ス	中期程度ヲ向上シ各個動作ヲ嚴正確實ニ行ヒ得ルニ至ラシム	中期程度ヲ向上シ警防團全體ヲ以テ概ニ齊整確實ニ行動シ得ルニ至ラシム	中期程度ヲ向上シ分団ヲ以テ概ニ確實ノ活動ヲ得ルニ至ラシム	中期程度ヲ向上シ訓練ノ進歩ニ伴ヒ必要ナル事項ヲ教授ス

2021

参考表

考	備
<p>一 前期中ニ基本的事項ヲ大體教育月シ中期ニ於テ未教育ノ分及細部ノ事項ヲ教育シ且訓練ヲ重シ後期ニ於テ補備及習熟ヲ重ナル要領ニテ教育ス</p> <p>二 各部業務ハ各部毎ニ一通教育スルモ重要課目ニ就キ特ニ力ヲ用フ</p> <p>三 各訓練ノ進歩ニ伴ヒ得ル如ク先ツ幹部ノ技能ヲ向上ス</p> <p>四 本順次表ニ基キ警防團ハ年度(又ハ各期)月別(又ハ週別)及日別(又ハ回次)課目別ノ具體的教育計畫ヲ作製スルモノトス年度教育月計畫表様式ノ一例附屬表ノ如シ</p>	<p>防空通信規則、同取扱規程</p> <p>府縣市町村防空計畫及其他防務事務書</p> <p>防空警報ニ關スル規定</p> <p>陸軍各種關係放範</p> <p>東部國民防空訓練指導手冊、總則</p> <p>其他必要ナル事項</p>

三



参考表

昭和十四年度警防團教育課目及程度表例

課目	前期 (四月)	中期 (五月)	後期 (六月)
精神教育	<ul style="list-style-type: none"> 一 警防上精神要素ノ重要性ヲ自覺セシム 二 警防精神、警防規律其ノ他教育綱領ノ精神的要素ニ就キ自覺徹底ヲ圖ル 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期課目ノ程度ヲ向上ス 二 傳令動作 三 夜間動作 四 礼式各動作 五 其他必要事項 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ確實 二 行ヒ得ルニ至ラシム
一般	<ul style="list-style-type: none"> 一 編成、整列、整頓、休、集 二 解散 三 折敷、伏臥 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期課目 二 折敷、伏臥 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ八段ノ 二 圖ヲ以テ確實ニ行フ
各個	<ul style="list-style-type: none"> 一 各訓練ヲ通シテ終始之カ涵養陶冶ヲ圖ル 二 不動ノ姿勢 三 右(左)半右(左)向、後向 四 行進(速歩、輕歩) 五 折敷、伏臥 六 室外及室内敬礼 七 服裝整飾 八 復唱、復命 九 其他必要事項以上ヲ概テ確實ニ行フニ至ラシム 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上ス 二 傳令動作 三 夜間動作 四 礼式各動作 五 其他必要事項 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ確實 二 行ヒ得ルニ至ラシム

報警	燈火管	業制	練團
各個	各個	各個	各個
<ul style="list-style-type: none"> 一 防空警報ノ目的、意義種類、信號傳達要領其ノ他必要ナルヲ知得 二 傳令動作 	<ul style="list-style-type: none"> 一 燈火管制ノ目的、意義種類、方法其ノ他必要ナルヲ知得 二 實施要領、着意事項、指導及点檢ヲ主トシテ一般屋外灯及家庭灯ノ灯火ニ就テ行フ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 實地、点檢指導區域、應路着意事項、種類、方法 二 班(部)ノ行動部署、掌權以上班ヲ以テ概テ確實ニ行フ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 行進、隊形 二 團體、敬礼 三 以上ハ隊進ノ動作ヲ確實ニ中隊ノ簡單ナル動作ヲ行ヒ得ルニ至ラシム 四 小隊ハ三〇乃至五〇名、中隊ハ三〇乃至五〇名、大隊ハ三〇乃至五〇名、各隊ハ三乃至四中隊ヲ基トシ班部分團ノ組織ヲ混淆セザル如ク編成ス
<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上 二 警報信号施設ノ設置、取扱ノ部信ヲ要領傳達用器器材ノ取扱 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期以外各種灯火管制ノ實施要領指導及点檢 二 其他ノ業務ノ概要 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概テ確實ニ行フ 二 其他ノ業務ノ概要 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ八段ノ圖ヲ以テ確實ニ行フ 二 行ヒ得ルニ至ラシム
<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ習熟完成ス 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ習熟完成ス 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ分團長ノ指揮下ニ在リテ活動スルニ慣レシム 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ八段ノ圖ヲ以テ確實ニ行フ 二 行ヒ得ルニ至ラシム

消	防
各個	團體
<ul style="list-style-type: none"> 一 火災其他災害ノ原因予防ノ知得 二 防空消防平時消防ノ要領 三 家庭消防ノ要領 四 各種器具取扱特殊吸放水注水 	<ul style="list-style-type: none"> 一 班ヲ以テスル各種消防要領 二 班及班長出動及實施要領 三 消防ノ判斷部署行動連絡 四 消防部ヲ以テスル活動機要 五 破壞消防 六 水災具其他活動動作
<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上 二 水利、給水施設上ノ利用 三 其他ノ業務ノ概要 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ概テ確實ニ行フ 二 破壞消防 三 水災具其他活動動作
<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ習熟完成ス 	<ul style="list-style-type: none"> 一 前期程度ヲ向上シ習熟完成ス

報

團體

一、傳達區域順路傳達要領受信
二、班(部)部署掌握連絡
以上班ヲ以テ確不確實ニ行フ

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ分團長ノ
指揮下ニ在リテ活動スルニ慣
レシム

燈

管

一、燈火管制目的、意義、種類、方
法其ノ他必要ナルヲ知得
二、實施要領、着意事項、指導及
点檢ヲ主トシテ一般屋外灯及販
賣店ノ灯火ニ就テ行フ

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

火

管

一、火災其ノ他災害ノ原因ヲ防
知得
二、防空消防平時消防ノ要領
三、家庭消防ノ要領
四、各種器具取扱法、放水注水

一、前期程度ヲ向上
二、水利、給水施設トシテ利用
三、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

業

制

一、實施要領、指導、連絡
二、班(部)ノ行動部署、掌握以
上班ヲ以テ確不確實ニ行フ

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

消

各

一、火災其ノ他災害ノ原因ヲ防
知得
二、防空消防平時消防ノ要領
三、家庭消防ノ要領
四、各種器具取扱法、放水注水

一、前期程度ヲ向上
二、水利、給水施設トシテ利用
三、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

防

團

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

警

各

一、警備目的、要領
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

護

團

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

交

通

一、交通整理(交通音響管制)令
二、目的及一級要領
三、交通整理ノ方法
四、避難指導ノ方法

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

理

團

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

務

團

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

防

各

一、瓦斯ノ種類、性能、防毒要領
ノ知得
二、各個防護特ニ保護防護
三、瓦斯檢知、消毒ノ方法
四、防毒器材ノ使用、取扱法
以テ時時注意シテ行フ

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

毒

團

一、防毒ノ班ノ部署、連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

救

各

一、傷者ノ取扱方法
二、救急法
三、傷者ノ運搬法
四、必要ナル者ニ治療法

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

護

團

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

避

各

一、各種避難(避難所、避難所)
ノ要領
二、避難所各係ノ服務方法
三、其ノ他必要ナル事項

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

難

各

一、班ノ行動部署、掌握連絡
二、班ノ行動部署、掌握連絡
三、班ノ行動部署、掌握連絡
四、班ノ行動部署、掌握連絡

一、前期程度ヲ向上シ部ヲ以テ
確不確實ニ行フ
二、他ノ業務ノ概要

中期程度ヲ向上シ習熟完
成ス

考	備	學科	練						救		毒			
			給	配	作	工	難	避	護	救	毒			
			<p>一 班ノ以テ收受、訓練ノ分配要領</p> <p>二 班ノ部署、掌權連絡</p>	<p>一 配給ノ目的、取扱種類ノ方法ヲ知得</p> <p>二 配給ノ要領、調査、収受集積ノ要領</p> <p>三 運搬器具及其ノ積載法</p>	<p>一 班ノ以テ簡單ナル前記作業ノ要領</p> <p>二 班ノ部署、掌權連絡</p>	<p>一 工作ノ目的、種類、要領、知得</p> <p>二 簡單ナル偽裝法、電氣、水道、瓦斯關係ノ簡單ナル工作法</p> <p>三 被痕跡、不察察其他ノ方法</p>	<p>一 班ノ管理ナル避難所ノ施設配</p> <p>二 班ノ行動、部署、掌權連絡</p>	<p>一 各種ノ避難所ノ施設、要領</p> <p>二 避難所各係ノ服務方法</p> <p>三 其他ノ必要ナル事項</p>	<p>一 班ノ行動、部署、掌權連絡</p> <p>二 救護所内ノ設備、配置</p>	<p>一 傷者ノ取扱方法</p> <p>二 救急法</p> <p>三 傷者ノ運搬法</p> <p>四 必要ナル者ニ治療法</p>	<p>一 防毒ノ偽裝、部署、連絡</p> <p>二 班ノ以テスル防毒、指導、監視、哨、動作、瓦斯、象、判断、所、確、實、ノ行、得、シム</p>	<p>一 前期程度ヲ向上シテ、以テ、前、期、程、度、ヲ、行、フ</p> <p>二 他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一 前期程度ヲ向上シテ、以テ、患、者、ノ、取、扱、ヲ、確、實、ニ、行、ヒ、得、セ、シム</p> <p>二 他ノ一業務ノ概要</p>	<p>一 前期程度ヲ向上シテ、以テ、中、期、程、度、ヲ、行、フ</p> <p>二 他ノ一業務ノ概要</p>

一 前期中ニ基本的事項ヲ大体教示シ、中期ニ於テ未教育ノ分及細部ノ事項ヲ教育シ、且訓練ヲ重シ後期ニ於テ補備及習熟ヲ重シ要領ニテ教示ス

二 各部業務ハ各部毎ニ一通教育スルモ重要課目ニ就キ特ニ力ヲ用フ

三 各訓練ノ進歩ニ伴ヒ得ル如ク先少幹部ノ技能ヲ向上ス

四 本順次表ニ基キ教育防團ハ千度(又ハ各期)月別(又ハ週別)及日(又ハ回次)課目別ノ具体的教育計畫ヲ作製スルモ、千度及月計畫表様式ノ一例附屬表ノ如シ

一 團員全般ニ前期ニ於テ先少ノ諸法現其ヲ他必要ナル部分ヲ會得セシメ訓練ノ進歩ニ伴ヒ中期後期ニ於テ更ニ細部ノ教育ヲ會得理解セシム

二 軍防空ノ必要ト防空体系

三 防空法、同施行令

四 官廳防空令、防空委員會令

五 警防團令、同施行細則

六 防空令、同施行細則

七 防空通信規則、同取扱規程

八 府縣市町村防空計畫及其他防空業務書

九 防空警報ニ關スル規定

十 東部國民防空訓練指導手冊、細則

十一 其他必要ナル事項

一 訓練ノ進歩ニ伴ヒ動作ニ必要事項ヲ教授シ訓練ヲ容易ナラシム其ノ要ナル性規及參考書類左ノ如シ

二 防空官制規則及同細則

三 防空建築規則及同細則

四 防空資材取扱規則及同細則

五 防空有線道及通信官署ノ灯火取扱内規

六 防空令、同施行細則

七 防空令、同施行細則

八 防空令、同施行細則

九 防空令、同施行細則

十 防空令、同施行細則

十一 防空令、同施行細則

十二 防空令、同施行細則

十三 防空令、同施行細則

十四 防空令、同施行細則

十五 防空令、同施行細則

十六 防空令、同施行細則

十七 防空令、同施行細則

十八 防空令、同施行細則

十九 防空令、同施行細則

二十 防空令、同施行細則

(附屬表)

警防團年度教育計畫表樣式例

精神教育	區分	課目	前	期
		回数	月	日
	時間			
	課目	中	期	
		回数	月	日
		時間		
		課目	後	期
		回数	月	日
		時間		
		回数	計	
		時間		

204-1

折敷 伏臥ノ訓練要領

第一 折敷 又ハ「伏臥」ハ敏速ニ之ヲ行ヒ得ルヲ度トシ其ノ概要ヲ會得セシ

ムルヲ以テ足レリトス

第二 折敷（伏臥）ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

折敷

停止間折敷ヲ爲スニハ（行進間ニ在リテハ左足ヲ踏ミ着ケタル後停止間ニ於ケルト同様ノ動作ヲ行フモノトス）左足ヲ約半歩右足尖ノ前ニ足尖ヲ内ニシテ踏ミ出スト同時ニ上体ヲ半バ右ニ向ケ右脚ヲ曲ケ其ノ股ヲ地ニ着ケ臀ヲ右足ノ後方ニ於テ地ニ着ケ左脚ヲ立テ両手ヲ輕ク握リ右手ヲ右股ニ左前臂ヲ左膝ニ置ク

伏セ

伏臥ヲ爲スニハ左足ヲ折敷ノ時ニ於ケル如ク踏ミ出スト同時ニ体ヲ半バ右

ニ向ケ右膝ヲ地ニ著ケ次テ左膝ヲ地ニ著ケ左手ヲ体ノ前ニ出シ地ニ
臥シ両手ヲ輕ク握リ右前臂ヲ左前臂ニ載ス

第三 本動作ハ短時間屢々實施シ目的ヲ達成スルコト

第四 警防団員ハ其ノ担任業務ノ關係上本動作ヲ必要トスヘキヲ以テ相當訓
練ヲ爲シ習熟セシムルヲ要ス

特ニ防毒救護部ニ在リテハ折敷ヲ相當訓練スルノ要アリ

第五 本訓練ニハ被服ノ汚損及掌膝等ノ員傷スル虞アルヲ顧慮シ土地ノ選定
ニ注意シ要スレバ筵類ヲ敷キ又脚絆ヲ着用スル場合ハ膝部ニ多少餘裕ヲ存
セシムルモノトス

第六 先ツ停止間ニ分解シテ行ヒ漸時迅速機敏ニ實施シ行進間（馳歩ヲ含ム）
ノ動作ニモ及ブモノトス

第七 各動作教養上ノ注意

(1) 左足ヲ前ニ出サシムルハ進取ノ氣象ヲ發揮セシムルニ在リ

(2) 折敷ニ於テ左足尖ヲ内ニ約半歩前ニ出ス程度及方向ハ姿勢ノ安定ニ關係
アルヲ以テ注意スルコト

(3) 折敷ニ於テ臂ヲ右足ノ後方ニ於テ地ニ著ケルハ安定ヲ保ツニ在リ右股ノ
開キヲ大ナラシムルハ安全度ヲ増スモノトス

(4) 伏臥ニ於テハ頭ヲ真直ニ保チ下ヲ向カシメサルコト

(5) 起立ノ動作ハ進取ノ氣勢ヲ發揮セシメ迅速活潑ニ動作セシムルヲ要ス

傳令訓練要領

第一 傳令ノ選衛

傳令ニハ責任觀念旺盛ニシテ記憶並ニ理解力強ク且身體強健ナル者ヲ選フ
モノトス

第二 訓練範圍

徒歩及自轉車傳令ノ訓練ヲ主トシ實施スルモノトス

第三 訓練方法

基本訓練ヲ實施シ命令通報報告等ノ傳達事項受命出發及到着時ニ於ケル禮
式其ノ他ノ諸作ヲ演練シ一應ノ訓練ヲ修了シタル後ハ一般訓練ニ附隨シテ
傳達ニ関スル傳令訓練ヲモ併セ實施スルモノトス

第四 傳令ノ速力

(4)並 一 一時間概ネ五キロ

四急

一時間概ネセキ

(一) 至急

体力ノ堪フルニ應シ可及的迅速ナル速力

(二) 自轉車ニ依ル傳令ノ速力ハ適宜其ノ時ニ於テ定メテ示スカ又ハ到着豫定

時刻ヲ示スモノトス

第五 傳令ニ通常示スヘキ事項

(一) 受信者及其ノ所在地

(二) 必要アル場合ハ其ノ徑路

(三) 速力

(四) 傳達後ノ處置

(五) 其ノ他必要事項

第六 傳令動作ノ訓練

(一) 口頭ニ依ル傳達時ノ復唱

(一) 受命出發及到着時ノ諸動作

(二) 出發前及歸着後ノ復唱(受命事項ノ全部又ハ其ノ要旨)

(三) 到着先ノ受信者ヘノ傳達方法(受信者ヲ速カニ發見スルノ措置ヲ含ム)

第七 指導上ノ着眼点

(一) 明確ナル發唱

(二) 活潑ナル態度

(三) 受命出發到着時ノ敬禮及其ノ前後ノ諸動作

(四) 復唱ハ「復唱」ト口稱シタル後之ヲ行ハシムルコト

(五) 受命事項ヲ誤リナク了解セシムルニ努ムルト共ニ之ヲ檢シ且復唱ハ任務

遂行ノ誓ノ言葉ヲラシムル如ク指導スルコト

警防團ノ教養ニ關スル件

警防團ノ教養ニ關シテハ地方ノ實情ニ應ジ夫々計畫ヲ樹立シ遺憾
ナキヲ期セラレツツアリト備ケルモ警防團ノ結成事情竝ニ其ノ組
織事情ニ鑑ミ此ノ際速急ニ完成スルコト肝要ト被存候ニ付テハ爾
今左記警防團教養指針ニ基キ一貫セル方針ノ下凡ソ三ヶ年ヲ以テ
（表多クハ之ノ持世ニモ之ヲ示シテ）
~~（表多クハ之ノ持世ニモ之ヲ示シテ）~~ 教養ノ定成ヲ目指シ第一年ニハ基礎訓練第二年ニハ各
部訓練第三年ニ綜合實地訓練ノ完成ヲ目標トシテ夫々實情ニ應ジ
教養ノ徹底ヲ圖ラレ度申進候

追テ本計畫ニ付テハ特ニ地方ニ於ケル特殊事情ヲ考慮セララルト
共ニ警防團ノ本質ガ義勇隊ナルコトニ想フ致サレ緩嚴其ノ宜シキ
ヲ得ル様特ニ御配慮ノ上幹部ニ對シテハ早急別添幹部教養要綱ニ

内務省

内務省



基キ今年度一般教養計畫ニ付テハ別添昭和十四年度教養計畫ニ基
キテ夫々具體的ニ計畫セラレ度

内務省

規格 B. 5

（Faint, mostly illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in vertical columns.)

皇國海軍

海軍省

海防軍教育訓練要綱

教育訓練

一 海防軍教育ノ第一ハ海防精神ノ涵養ナリ

海防精神ハ忠君愛國、誠心奉公ノ至誠ニ在リ
 其ノ涵養ハ、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

二 海防軍教育ノ第二ハ國紀ノ遵守ニ在リ

國紀ノ遵守ハ、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

三 海防軍教育ノ第三ハ體格ノ強健ニ在リ

體格ノ強健ハ、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

規格 B. 5

一、 訓練科目
 二、 訓練科目
 三、 訓練科目
 四、 訓練科目
 五、 訓練科目
 六、 訓練科目
 七、 訓練科目
 八、 訓練科目
 九、 訓練科目
 十、 訓練科目
 十一、 訓練科目
 十二、 訓練科目
 十三、 訓練科目
 十四、 訓練科目
 十五、 訓練科目
 十六、 訓練科目
 十七、 訓練科目
 十八、 訓練科目
 十九、 訓練科目
 二十、 訓練科目
 二十一、 訓練科目
 二十二、 訓練科目
 二十三、 訓練科目
 二十四、 訓練科目
 二十五、 訓練科目
 二十六、 訓練科目
 二十七、 訓練科目
 二十八、 訓練科目
 二十九、 訓練科目
 三十、 訓練科目
 三十一、 訓練科目
 三十二、 訓練科目
 三十三、 訓練科目
 三十四、 訓練科目
 三十五、 訓練科目
 三十六、 訓練科目
 三十七、 訓練科目
 三十八、 訓練科目
 三十九、 訓練科目
 四十、 訓練科目
 四十一、 訓練科目
 四十二、 訓練科目
 四十三、 訓練科目
 四十四、 訓練科目
 四十五、 訓練科目
 四十六、 訓練科目
 四十七、 訓練科目
 四十八、 訓練科目
 四十九、 訓練科目
 五十、 訓練科目
 五十一、 訓練科目
 五十二、 訓練科目
 五十三、 訓練科目
 五十四、 訓練科目
 五十五、 訓練科目
 五十六、 訓練科目
 五十七、 訓練科目
 五十八、 訓練科目
 五十九、 訓練科目
 六十、 訓練科目
 六十一、 訓練科目
 六十二、 訓練科目
 六十三、 訓練科目
 六十四、 訓練科目
 六十五、 訓練科目
 六十六、 訓練科目
 六十七、 訓練科目
 六十八、 訓練科目
 六十九、 訓練科目
 七十、 訓練科目
 七十一、 訓練科目
 七十二、 訓練科目
 七十三、 訓練科目
 七十四、 訓練科目
 七十五、 訓練科目
 七十六、 訓練科目
 七十七、 訓練科目
 七十八、 訓練科目
 七十九、 訓練科目
 八十、 訓練科目
 八十一、 訓練科目
 八十二、 訓練科目
 八十三、 訓練科目
 八十四、 訓練科目
 八十五、 訓練科目
 八十六、 訓練科目
 八十七、 訓練科目
 八十八、 訓練科目
 八十九、 訓練科目
 九十、 訓練科目
 九十一、 訓練科目
 九十二、 訓練科目
 九十三、 訓練科目
 九十四、 訓練科目
 九十五、 訓練科目
 九十六、 訓練科目
 九十七、 訓練科目
 九十八、 訓練科目
 九十九、 訓練科目
 一百、 訓練科目

總テ教育ハ半次ヲ通ヒテ之ヲ行ハザルベカラズ其ノ程度ハ土
 地ノ状況、團體ノ素質ニ依リ必ズシモ同一ナラズ

- 教育半次計畫ハ概ネ左ノ二種ニ分ツ
 (1) 普通國永平教育順次計畫
 (2) 半次

二 教育科目

教育科目概ネ左ノ如シ

- (1) 訓育
 (2) 教練、禮式、點檢
 (3) 業務訓練

ノ 一般業務訓練

- 指揮官ハ團ノ中樞ニシテ且其ノ團結ノ中核ナリ率先躬行
員ノ儀表タラザルベカラズ
- (2) 指揮能力ノ練成
指揮官タルノ要義ハ首ニ自ラ適當ノ業務ヲ完全ニ遂行シ得
ルヲ以テ是ラズ、更ニ部下ヲシテ其ノ意ニ從ヒ十分ノ結果
ヲ收メシムル指揮能力ノ練成ニ努メザルベカラズ
- (1) 幹部教育ノ科目
- (1) 訓育
- (2) 班、部、分團、團ノ實員ノ指揮
- (3) 現地作戦教育
- (4) 警防團上演練

規格 R. 5

警防團永年教育順次表

課目	精神教育		一般訓練		業務訓練		學科	備考
	一般	要領	團體	各個	團體	各個		
昭和十四年度	警防精神警防規律 重要性自覚 訓練終始通達 之徹底	警防上精神本規程重要 性自覚 訓練終始通達 之徹底	言語姿勢態度行進 儀式等之嚴正 精神之鍛鍊 警防規律 之徹底	簡明之言語 編正之姿勢 費明確之態度 行進之嚴正 儀式等之徹底	團體禮式行動之嚴正 心一致整齊 團體行動 之徹底	整理整頓行進 禮式 其他動作 之徹底	警防全隊及各業務之 要領之徹底 訓練之徹底 之徹底	警防全隊及各業務之 要領之徹底 訓練之徹底 之徹底
昭和十五年度	特時間之活用 訓練之徹底 之徹底	特時間之活用 訓練之徹底 之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底
昭和十六年度	以	以	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底	前年度之程度 向上之徹底

11

昭和十四年度警防團教育順次表

課	目	前期 (自六月)	中期 (自十月)	後期 (自三月)	
	考	一、警防精神、警防規律其、他訓育、徹底ヲ期ス 二、期ヲ進フニ從ヒ氣象、建築、化學等補助課目ヲ増スコト 三、消防機械ノ操作ニ付テハ特ニ速急ニ行フコト 四、消防機械係ニ付テハ修理技術ヲ習得セシムル等別ニ講習スルモノナラコト 五、一般訓練ハ矣檢規則ニ基キ施行スルコト			
		此警防團ノ育成ニ努ムルコト			

昭和十四年度警防團教育順次表

課目	前期 (自六月 至九月)		中期 (自十月 至十二月)		後期 (自一月 至三月)	
	精神教育	一、警防精神、警防規律其ノ他訓育、徹底ヲ期ス ニ、各訓練ヲ通ジテ終始之ガ涵養陶冶ヲ圖リ諸般ノ訓練ヲ擧ゲテ精神訓練ニ歸納セシムルコト	一、前期課目ノ程度ヲ向上ス	一、前期程度ヲ向上シ警防團全員ヲテ整齊確實ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、前期課目ヲ向上シ即チ以テ確實ニ行ヒ得ル如ク訓練ス	一、警防團全部各業務ノ連繫協同訓練ノ完成ヲ期ス
一般訓練	一、操典各個教練禮式令團員敬禮ニ付訓練シ概ネ確實ニ動作シ得ルニ至ラシム 一、操典小隊教練禮式令團員敬禮ニ依リ訓練シ概ネ五十名位ノ團員ヲ一齊ニ確實動作シ得ルニ至ラシム	一、操典中隊教練以上禮式令分列式觀閲式ヲ確實ニ行ヒ得ルニ至ラシム	一、前期程度ヲ向上シ警防團全員ヲテ整齊確實ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、前期課目ヲ向上シ即チ以テ確實ニ行ヒ得ル如ク訓練ス	一、警防團全部各業務ノ連繫協同訓練ノ完成ヲ期ス	一、同 上
業務訓練	一、各班所屬ノ専門的事項ニ付基礎動作ヲ確實ヲ期ス	一、前期課目ノ向上ヲ期ス ニ、所屬班ノミナラズ全般業務ニ付教授ス	一、前期程度ヲ向上シ警防團全員ヲテ整齊確實ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、前期課目ヲ向上シ即チ以テ確實ニ行ヒ得ル如ク訓練ス	一、警防團全部各業務ノ連繫協同訓練ノ完成ヲ期ス	一、同 上
學科	一、警防團必携ニ基キ總則並ニ各班業務事項ヲ教授ス	一、各班業務別ニ基キ警防團必携ヲ確實ニ會得セシム	一、前期程度ヲ向上シ警防團全員ヲテ整齊確實ニ動作シ得ルニ至ラシム	一、前期課目ヲ向上シ即チ以テ確實ニ行ヒ得ル如ク訓練ス	一、警防團必携ノ外各專問知識ノ教育ヲナス	一、同 上
備考	<p>一、訓練ニ當リテハ各該地方ノ警防上ノ特質ニ鑑ミ課目ノ輕重本末ヲ考ヘ特色アル警防團ノ育成ニ努ムルコト</p> <p>二、期ヲ違フニ從ヒ氣象、建築、化學等補助課目ヲ増スコト</p> <p>三、消防機械ノ操作ニ付テハ特ニ速急ニ行フコト</p> <p>四、消防機械係ニ付テハ修理技術ヲ習得セシムル等別ニ講習スルモ可ナルコト</p> <p>五、一般訓練ハ兵檢規則ニ基キ施行スルコト</p>					

Vertical text on the left page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to decipher, but appear to be organized in columns.

Main body of vertical text on the right page, organized into several columns. The text is dense and appears to be a formal document or record.

220
219

課

難 園 体

二班、行動部、警備、連絡

二他、業務、概要

動ルニ慣レシム

工 各 個

一、工、目的、種類、要領、心得
二、簡單ナル編製法、電気水道
三、新内洋、新等ナル工作法
三、破壊、跡、不、復、得、其、他、始、末、方、法

一、前期程度、向上
二、通信、交通、建築、関係、簡單
ナル工作法
三、他、業務、概要

一、中期程度、向上シテ
完成ス

作 園 体

一、部ヲ以テ、簡單ナル前記、作業
二、要領
三、部、部署、掌握、連絡

一、前期程度、向上シ、部ヲ以テ
テ、各種、作業ヲ、指示、確實
ニ行フ

一、中期程度、向上シ、分
團長ノ、指揮、下ニ在リ
テ、活動スルニ慣レシム

配 各 個

一、配給、目的、取扱、種類、方法、心得
二、配給、所要品、調査、收受、集積
三、運搬、器具、其、積載、法

一、前期程度、向上
二、他、業務、概要

一、中期程度、向上シテ
完成ス

給 園 体

一、部ヲ以テ、收受、調理、分配
二、要領
三、部、部署、掌握、連絡

一、前期程度、向上シ、部ヲ以テ
テ、指示、確實ニ行フ

一、中期程度、向上シ、分
團長ノ、指揮、下ニ在リ
テ、活動スルニ慣レシム

學

科

備

考

一、前期中ニ基本的事項ヲ大体教育シ、中期ニ於テ未教育ノ方及細部ノ事項ヲ教育シ、且訓練ノ重点後期ニ於テ痛痒及自然ノ意又ル要領ニテ教育ス

二、各部業務ハ各部毎ニ一通リ教育スル又重要科目ニ就テ特ニ力ヲ用フ

三、各訓練ノ進歩ニ伴ヒ得ル如ク先ツ幹部ノ技能ヲ向上ス

四、本順次表ニ基キ警防團ハ年度(又ハ各期)月別(又ハ週別)及各日(又ハ回次)課目別、且、具体的教育計畫ヲ作成スルモノトス

